

防災訓練時の無線通信手引き

守りましょう！

1. クラブコールサインを使用して運用しましょう
※クラブ局未開局拠点は運用者個人のコールサインを使用し、／1（ポータブルワン）及び拠点名（又は運用場所）を適宜付加しましょう
2. 仮区役所として自宅で運用する場合は、個人のコールサインを使用し、適宜「仮区役所」を付加しましょう
3. 通話内容は、
RSレポート、防災拠点名（又は運用場所）、訓練会場の参加人数、YWK拠点参加人数（コールサイン・氏名）を必ず統制局に報告しましょう
4. 通話内容で一般の傍受局が誤解を招くような「負傷者〇人」「倒壊〇棟」などの送信は「訓練・訓練・訓練」を前置し、最後に「以上 訓練」を付加しましょう
5. 訓練終了後は速やかに訓練報告書及び無線機材点検報告書を作成し事務局長に提出しましょう
6. 交信は、相手局コールサイン、（こちらは）、自局のコールサインの順を通話文の前後に付加しましょう

止めましょう！

1. 複数の拠点を統制局（JR1YWK）が指揮をしている場合、拠点及び移動局相互間の交信は止めましょう
※交信が行われていなくても統制局の許可を取ってから交信しましょう
2. コールサインを言わず、「区役所局」「本部」「〇〇（学校名）局」などの名称での交信は止めましょう
3. 拠点間の情報交換・伝達、固定局や移動局との周辺情報の交換・伝達の場合は主に145.08MHz（±20KHz）を使用し、統制局との交信は438.08MHz（±20KHz）で行いましょう

その他

無線機が2波同時受信出来る場合は、常に受信状態にしておきましょう

尚、実災害発生時に運用する場合は、横浜市、旭区の「協定」に基づいて運用すること